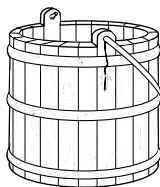


乳と乳酒文化、主にモンゴル族の乳利用、乳酒の意義を詳説し、わが国における乳製品の生産、利用、研究を解き明かす、文化的資料価値の高い研究書

# 乳酒の研究

越智猛夫著



八坂書房

## 内容

「乳酒」とはいったいどのような致酔飲料だろうか。名前だけは知られていながら製法や利用についての情報は殆どなかった。著者はこの十数年間、モンゴルと内蒙古自治区での共同研究・調査プロジェクトの乳加工分野に参加し、モンゴル民族の乳利用の実際を精査してきた。その過程で、乳酒はモンゴル民族独自の歴史と技術を持った他に例をみない乳文化であることが一層明らかになった。いっぽう、日本や中国民族の乳利用は仏教文化伝播の影響のもとに発展したが、今世紀以前には乳文化を形成するまでには至らなかった。

著者は諸民族の乳利用の歴史を比較検討しながら、「乳酒」を生み出したモンゴル民族の乳利用がいかに独特なものであるかについて、諸文献はもちろん、最新の化学的データをも駆使して詳述する。日本における乳酒の試醸にも詳しい著者によるわが国初の乳酒研究書といえよう。

## 著者略歴 越智猛夫(おち たけお)

1927年、愛媛県に生まれる。  
1948年、愛媛師範学校卒業。  
1951年、東京農業大学農学部卒業。  
1969年、乳酒株式会社代表取締役。  
1970年、東北福祉大学助教授。  
1971年～現在、東北福祉大学教授。

農学博士。中国内蒙古轻工科学研究所名誉研究員。  
主な著書  
『食の原点』(共編著、第一出版)、  
『食の変革』(共編著、第一出版)、  
『図解バイオテクノロジー』(共編著、農業図書)、  
『新自然科学概論』(共著、科学同人研究会)など。

## 読者対象

乳製品・乳加工関係者、  
醸造関係者、食文化史研究者、  
畜産関係者、博物館、図書館、  
大学(畜産・醸造)

## 体裁

A5判・上製・函入り・424頁  
挿図+表60点・写真50点  
定価 9,991円  
(本体9,515円+税)

八坂書房

〒101-0064  
東京都千代田区  
猿楽町1-4-11

TEL.03-3293-7975  
FAX.03-3293-7977  
(振替)00150-8-33915

ご注文は、なるべく下の注文書をご利用のうえ、お近くの書店までお願いいたします。

注文書

八坂書房

## 乳酒の研究

越智猛夫著  
本体 9515円

ご注文は、なるべくこの注文書をご利用のうえ、お近くの書店までお願いいたします。

ご住所  
お名前

〒

電話 ( )

書店番線印